

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



初めての心みでいたが、非常に子供達のエネルギーも出て、面白かった。結構楽しんで、取組班に今後子供達は、うまく質問事項に目を凝らして、また企業担当者から話を聞き、是非にしたい。

今年度は子供環境教育の会議として

第一期 第一回 子供と母親の会議

平成二十三年 九月二十日(土) 渋川福祉センター おら二階ア室 午後一時五分と三時迄

第三期 ことわり環境大学 修了、水質調査 天田川・天神川の調査を終了し、夏休みの学習を総括する意味もあり、子供会議を開催した。

芝田川はきれいになるのか？



この会議の特徴は、子供達に3本の「猿」すべりの木でつくったトークング・ステップを使って、会議を進めるところである。

この意味は別途解説するとして、マイクの役目をすると、言うのも良い。必ず討論する人は、このステップを踏まえ発言する。五分以内の用件と自分の意見を述べる。ステップを踏まない人は発言出来ず、話し終えてから自分の発言をする。

この自分の発言を時間内に簡潔に話すことは非常に難しいことである。かたよとめて話のことが可能になる。それによって会議の進め方がスムーズになり、会議のまとめが早くなる。

この体験を行なうことで自信が育み、発言力が向上して、人前での話す能力向上して非常に、努力と学力の向上が期待出来る。



この木は「猿すべりの木」の半端な木をしかり切るとトークング・ステップになる。

▼ 名古屋経営短期大学の生徒がにぎわっているのが「トークング・ステップ」の活用。



四角に囲んだ机の中での発言は、もうかして、まよとまよとくると思え、少ない人数でマンツーマン。

